

小6 (新中1)	受験 番号		氏 名	
-------------	----------	--	--------	--

入塾試験サンプル

小6(新中1)

国語

[ご注意]

- この「入塾試験サンプル」は、実際の入塾試験よりも問題数を減らしたサンプル版となっています。
- 実際の入塾試験では、問題によってはやや難易度が高い問題が出題される場合もあります。
- 実際の入塾試験も、問題冊子と解答用紙は別々に分かれていますので、本番と同じように解答は解答用紙に記入して下さい。

この問題は誉田進学塾が作成したものであり、著作権は誉田進学塾グループに帰属します。ご利用は入塾を希望するご家庭の学習目的に限り、権利者の許諾を得ずに複製、販売、またはウェブサイトへの掲載等を行うことを禁止します。

1 次のそれぞれの文の——線部のことばと同じ意味や用法をもつ

なで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

(1) 通行のじやまになっているものを除く。

(2) 皇居は東京都にある。

(3) ひがいが拡大する。

(4) 明日は、時間厳守で学校に集合しなさい。

(5) 好きな人のツマになる。

(6) 森林は大切なシゲンだ。

(7) 親コウコウをする。

(8) このチイキには公園が多い。

2 次の(1)～(3)の——線部のことばと同じ意味や用法をもつ

ものを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) こたつの中でねこが丸くなっている。

ア とても寒かつたが、出かけた。

イ アの犬にかまれた男性が、ぼくの兄です。

ウ カれも君のように早く走れるのだが。

エ やっぱり我が家は落ち着くなあ。

(2) 雪の降る日を楽しみにしている。

ア となり町に、兄の住んでいる家がある。

イ 雨の中を、かけ足で家に帰った。

ウ そのケーキは、だれが買ってきたの。

エ その赤いのが、私のマフラーです。

(3) 每朝七時に起きる。

ア あまりの寒さにふるえた。

イ 友だちと魚つりに行く。

エ すぐに追いつきます。

ア 勉強の合い間にマンガを読む。

3

次のそれぞれの短歌を読み、あとの問い合わせに答えなさい。

A 石崖に子ども七人腰かけて河豚を釣り居り夕焼け小焼け
いしがけ こわらはくしゅう

B 今日までに私がついた嘘なんてどうでもいいよというような海
いりひ うそ

北原白秋
きたはらはくしゅう

C 入日入日まつ赤な入日何か言へ一言言ひて※落ちもゆけかし
いりひ え
今井邦子
いまいわくにこ

俵万智
たわらまち

※落ちもゆけかし：落ちてゆけ。

問一 A～Cの短歌から、次の表現上の工夫が用いられているものをすべて選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 短歌の最後がものの名前を表すことば（名詞）で終わっている。

② 短歌の決められた形式より音数が多くなっている。

問二 A～Cの短歌から、次の鑑賞文にもつともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

童謡のようなことばを用いて、情景を影絵のように表現している一首である。<

4 次の文章を読んで、あととの問いに答えなさい。

患者さんは、
かんじや

「こんなに体調がわるいのは、なにか重大な病気がひそんでいるからではないだろうか」

と不安に思いながら、病院へやってきます。

「病気のことをよく知っている医師ならば、きっとこの痛みのつらさもわかつてくれるだろう」と、患者さんは信じてやつてくるのです。

けれども、そうした患者さん一人一人がかかえるつらさや不安については、医学生が学ぶ大学の教科書には細かく書いてありません。^①教科書からは学びようがないのです。では、どこで、どうやって学べばよいのでしょうか。

仮に教科書にヒントになりそうな説明が書かれてあったとしても、同じ病気の患者さんがすべて同じ痛みを感じ、同じ不安を持つわけではありませんね。一人ひとりで病気の感じ方というものはちがいます。

A

、きみが虫歯の痛みで泣くほどの思いをしたり、からだ中がかゆくて夜どおしねむれなかつたりしても、そのつらさをほかの人があきみとそつくり同じに感じることはできないでし

ょう？ ほかの人を感じている痛みや不安を、まったく同じよう自分も感じて理解することは、だれにもできないのです。

ただ、わたしはさいわいにして、病気のために八か月間もねたきりで苦しんだ体験があります。本当なら災難といいたいところですが、自分が大病をすることにより病気をもつた人のつらさを体験できた、ということは、まさに“さいわい”と呼べましよう。そのおかげで、わたしは患者さんの心を察することができます。

患者さんがどんな痛みでくるしんでいるのか、B、病気のためにどれほど気持ちがふさいでしまってているのかを、わたしは自分の病気の体験を手がかりにして想像することができます。

「本当につらいだろうなあ」

と、患者さんの身になつて感じて、何とか手を貸したいと心から思うことができます。

(中 略)

もしも、わたしが結核けつかくをわずらうことなく、順調にエリートコースを進んで、念願の医学部教授にすんなりなつていたら、ひょっとすると、わたしは学歴と名声を(②)にかけた高慢こうまん

ちきな医師になつていていたかもしません。

「痛いくらいなんだ。がまんしなさい！」

と、患者さんをしかりつけたり、

「きみはたいへんに重い病氣で、すぐに手術をしないといけません。とにかく急ぎなさい」

などと、患者さんや家族の希望や不安はおかまいなしに、深刻な話をしつけずけど、しかも、何の感情もいだかずに口にしてしまつたりする医師になつていたとも考えられます。

仮にそこまで^③ひどい医師にならなかつたにしても、患者さんの心を察することができる医師になるまでに、わたしはもつと長い時間を費やすければならなかつたことでしょう。□C、わたしはこれから医師になろうとする医学生たちには、

「きみたち、死なないていどに」
□④

などと冗談をいっているくらいなのです。

人生において最悪の体験だと思つていたものが、じつはわたしが人の心を察することのできる医師になるために必要なレッスンであつたのだと、今は心から感謝しています。

人生というのは、こんな思いがけないかたちで、その人にとってのだいじなレッスンを用意しているのです。きっとみの毎日のなかにも、将来に生かせるレッスンがいくつもかくされ

ていて、それをきみは毎日せつせと体験中というわけでしようね。

今日きみが失敗して、みんなに笑われてなみだをこぼした体験は、いつか友だちが失敗したときに、その気持ちをだれよりもわかつてあげられるためのレッスンなのかもしれません。今日きみがほめられたときに味わつた、晴れやかな、ほこらしい気分は、きみがもつと大きなことに勇気をもつてチャレンジするための準備運動みたいなものかもしません。

どんな瞬間^{しゅんかん}のなかにも、きみがなにかを学べるチャンスがかくされているということです。□D、自分がいつ、なにを学んだのか、それに気づけるかどうかはきみしだい、ということを忘れないでくださいよ。

(ひのはらしげあき
日野原重明「十歳のきみへ——九十五歳のわたしから」
ヨナル より)

問一 □A・□B・□C・□D にあてはまる言葉として

最もよいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- アだから イ ただし
ウ そして エ たとえば

問一 —— ① 「教科書からは学びようがないのです」とあります

すが、それはなぜですか。「患者のことはできないから。」

という形にあてはまるように、文章中から三十字以内（句読点も字数に数えます）でさがし、最初と最後の五字を書きぬいて答えなさい。

問三 —— ② には体の一部を表す言葉があてはまります。

あてはまる言葉を漢字一字で答えなさい。

問四 —— ③ 「ひどい医師」とあります

(1) このような医師とは、筆者は具体的にどのような医師だと考えていますか。ふさわしくないものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ずうずうしくて、遠慮することを知らない医師。

イ 人の気持ちを考えられない、自分勝手な医師。

ウ 病気の進行具合について、正確に理解できない医師。

エ 高圧的で人を見くだし、患者の心を見ようとしない医師。

(2) 筆者の考えるよい医師とはどのような医師ですか。文章中から十五字でさがし、ぬき出して答えなさい。

問五

④ あてはまる言葉として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 勉強しなさい イ 病気をしなさい

ウ がまんしなさい エ 人の心を考えなさい

問六 本文中の内容として合っているものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分が大病を患つたことで、患者の気持ちが手に取る

ようになつた。

イ 人生において最悪な経験をすることが、医師になる人には必要だ。

ウ 順調にエリートコースを進み、医学部教授になると、

高慢な医師になつてしまふ。

エ 人それぞれ感じているつらさはちがい、それを同じよう

うに感じて理解することはできない。

問七

この文章全体を通して、筆者が最も伝えたいこととして
ふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 痛みや不安といった人が感じていることを、同じよう

に自分も感じて理解しようと努力すべきだ。

イ どんなことも何かを学ぶことができるチャンスであり、
なにを学んだのか気づけるように心がけるべきだ。

ウ 日常生活の中には、将来に活かせるレッスンがたくさん
あり、より多く体験すべきだ。

エ 自分が失敗して悔しく思つた体験だけは、他の人の気
持ちを理解するために必要だ。

(これまで問題は終わりです)

解答

[1] (1) のぞ (2) こうきよ (3) かくだい (4) げんしゅ

(5) 妻 (6) 資源 (7) 孝行 (8) 地域

[2] (1) イ (2) ア (3) エ

《解説》

(1) 例文とイは、「～がどうする・どんなだ・何だ」という

述語に続いて、主語を表すはたらきがあります。アは、「とても寒かった。しかし、出かけた。」のように、反対の内容を表す二つのことがらを結びつけるはたらきがあり、「しかし」「でも」「だが」などの接続語と同じようなはたらきをしています。

ウは、文の終わりについて、「かれが

速く走れる」ということを遠回しに述べる気持ちを表して

います。エは、「我が」という一語のことばの一部です。

(2) 例文とアは、主語を表す「が」と同じはたらきがあります。イは、上の語が下の語を説明するはたらきをしています。ウは、文の終わりについて、質問する気持ちを表しています。エは、「～のもの」と、名詞と同じようなはたらきをします。

(3) 例文とエは、場所や時間を表すはたらきがあります。アは、動作・作用の起る原因やきっかけを表します。イは、目的を表すはたらきがあります。ウは「すぐに（副詞）」の一部です。

[3] 問一 ① A・B ② B・C

《解説》

① 短歌の最後がものの名前を表すことば（名詞）で終わる表現技法を、体言止めといいます。Aは「夕焼け小焼け」、

Bは「海」と、名詞で終わっていることを確認しましょう。

② 短歌には、五・七・五・七・七、三十一音という決まつた形式があります。この形より音数が少ないものを「字足らず」、多いものを「字余り」といいます。Bは五・七・五・八・七、Cは六・七・五・七・七と、それぞれ三十一音より多くなっているので、どちらも字余りになります。

問二 A

《解説》 Aでは、河豚ふぐを釣つって遊ぶんでいる子どもたちの様子がよまれています。「夕焼け小焼け」といった、童謡どうように

出てくるようなことばを用いることで、子どもの世界を印象的にえがいています。石崖に座っている子どもたちの姿が、夕焼け小焼けの真っ赤な夕空にうかび上がり、まるで影絵のような情景となつていて、この短歌です。

本番では、短歌について複数出題されます。

★短歌の区切り方

★短歌にえがかれている情景などの説明

★表現技法

これらについても問われますので、学校の教科書などで復習をしておきましょう。



4 問一 A エ B ウ C ア D イ

『解説』接続語の問題です。接続語は語と語・文と文・段落と段落をつなぐはたらきのことばなので、必ず前後の語句や文章がヒントになります。Aから順番に解くより、まず全部の問題を確認し、わかりやすいものから答えましょう。

問二 痛みや不安／理解する

『解説』直前の文に「患者さん一人一人がかかえるつらさや不安(は)：教科書には細かく書いてありません」とあります。いっぽう、後ろの段落には「仮に教科書に書かれてあつたとしても：一人ひとりで病気の感じ方というものははがります」ともあります。つまり、ポイントは「教科書に書いてあるかないか」ではなく、「患者さん一人一人の病気の感じ方をすべて理解することは難しい」という意味合いになることを確認したうえで、問い合わせの指定にある「／できない」という表現をヒントにさがしてみましょう。すると、さらに後ろの段落に「痛みや不安を、まったく同じように自分も感じて理解することは、だれにもできない」とありますね。字数に注意し、指定の言葉とつながるようぬき出して書きましょう。

問三 鼻

《解説》「鼻にかける」は、自慢するという意味の慣用句です。

問四

(1) ウ

《解説》選択問題は、選択肢を見る前にある程度、答えを考えてから選びましょう。先に選択肢を読むと、選択肢の内容に惑わされて、正しい答えが選べないことがあります。傍線部の直前に「そこまで」とありますので、「そこ」が指示している具体例を、傍線部より前の部分から探ししましょう。「ひどい医師」の例に当てはまら「ない」ものが正解です。

(2) 人の心を察することのできる医師

《解説》「患者さん的心を察することでできる医師」が答えですが、字数を超えてしまうため書くことができません。同じ意味を、別の表現であらわしている言葉を見つけることがポイントです。あらかじめどんな内容がどこに書いてあるのかを意識して読むと良いですが、さがす際はまず近くからが基本です。少しずつ範囲を広げて見ていくましょう。

問五 イ

《解説》筆者は病気をした体験のおかげで、患者さんのつら

さや痛みを想像できる医師になれたと考えています。ですから、これから医師になろうとする学生たちにも同じような経験をしてほしいと思つて「病気になつてつらい経験をしたらどうだい？」と、冗談半分で言っています。

問六 エ

《解説》当ではまりそうな答えがあつたとしても、しっかりと全ての選択肢を読み返しましょう。なんとなくよそそうな解答であつても、一部分が本文の内容とちがうことがあります。本文から読み取れない内容の選択肢を選んではいけません。迷った時は、必ずもう一度本文にもどつて、読み返すことが大切です。

問七 イ

《解説》設問文には解答のヒントがあります。筆者が最も強く述べたいことは、「～と思う（考える）」「～すべきだ・大切だ」といった文や、文章の最後のほうでまとめられていることが多いのでおぼえておきましょう。選択肢の中には、本文中に書いてあるものもあり、迷うかもしれません。

しかし、今回の問いは「筆者が最も伝えたいこと」です。文章後半の「人生というのは…」で始まる段落以降に着目

すると、「人生には思いがけない形でレッスンが用意されている、それは将来に生かせるものであり、毎日体験している。どんな瞬間にも何かを学べるチャンスがかくされているが、ただし、そのことに気づくかどうかは、自分しだいだよ」と述べられており、これが最も伝えたい内容だとうことが分かります。